

学期	月	単元名と学習内容(時数)	評価規準 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	主な評価方法
1	4, 5	1章 式の計算(15)	①簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ①文字式で一般的に表現したり、具体的な場面で利用したりすることができる。 ①目的に応じて、簡単な等式を変形することができる。 ②具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連づけて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ②文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。 ③文字を用いた式について学んだことを学習にいかそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査(①②③) ・振り返りシート(②③) ・ワーク等の提出物(①③) ・授業中の取り組み(③)
	5, 6	2章 連立方程式(16)	①2元1次方程式とその解の意味を理解することができる。 ①簡単な連立方程式を解くことができる。 ①連立方程式を利用して具体的な場面の問題を解決する手順を理解することができる。 ②1元1次方程式と関連づけて、連立方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ②連立方程式を具体的な場面で活用することができる。 ③連立方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、連立方程式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。	
	7, 9	3章 1次関数(18)	①1次関数について理解することができる。 ①事象の中に1次関数を用いて捉えられるものがあることを理解することができる。 ①2元1次方程式を、関数を表す式とみることができる。 ②1次関数の特徴を表・式・グラフで捉え、相互に関連づけて考察し説明することができる。 ②具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、変化や対応の様子を考察し、予測することができる。 ③1次関数について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、1次関数を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりすることができる。	
2	10, 11	4章 図形の性質と合同(18)	①平行線や角の性質を理解することができる。 ①多角形の内角の和を求めることができる。 ①平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解することができる。 ①証明の意味及びその方法について理解することができる。 ②三角形の内角や外角の性質や関係について、平行線の性質をもとにして説明することができる。 ②2つの三角形が合同であるかどうかについて、三角形の合同条件をもとにして説明することができる。 ③証明の必要性と意味を考えたり、証明を利用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査(①②③) ・振り返りシート(②③) ・ワーク等の提出物(①③) ・授業中の取り組み(③)
	12, 1	5章 三角形と四角形(19)	①直角三角形の合同条件について理解することができる。 ①平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を理解することができる。 ①底辺を共有する三角形の面積の関係をもとにして、面積を変えずに図形を変形することができる。 ②三角形の合同条件などをもとにして、直角三角形や平行四辺形になるための条件を論理的に考察したり、証明したりすることができる。 ②底辺を共有する三角形の面積の関係を具体的な場面で活用することができる。 ③三角形や平行四辺形の性質について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、三角形や平行四辺形の性質を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。	
3	2	6章 データの活用(7)	①箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味を理解することができる。 ①コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し、箱ひげ図で表すことができる。 ②箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ③箱ひげ図や四分位範囲について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、箱ひげ図や四分位範囲を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査(①②③) ・振り返りシート(②③) ・ワーク等の提出物(①③) ・授業中の取り組み(③)
	2, 3	7章 確率(6)	①場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解することができる。 ①簡単な場合について確率を求めることができる。 ②同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 ③確率について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、確率を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。	
		1年間の復習など(6)		